

令和元年度 事務事業総点検シート(1)  
[平成30年度事務事業]

一般会計						事務事業分類	詳細点検 A 一般事務事業
事務事業名		下水清掃				シート番号	10-33
担当部署名	環境局	局	環境事業部	部	環境業務課	課	評価責任者(課長名) 緒方

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	5	持続可能な環境共生都市を実現します	後期実施計画の位置付け
			施策	2	循環型社会推進と自然環境の保全・再生	無
	2	事業開始年度	平成 17 年度		終了(予定)年度	令和 2 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)	廃棄物の処理及び清掃に関する法律			
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	<p>本業務は、美原町時代から、市民の生活環境の保全と公衆衛生の保持のために実施してきたものであり、合併後も引き継いで実施してきた一市二制度である。</p> <p>下水道等の急速な整備が進んだことから、本業務の廃止に向け、順次業務の見直しを図ってきたところであり、今後は地元周知や関係部局等との協議等を進め、合併より環境局が担ってきた本業務を終了する。</p> <p>なお、終了後においても市が担う管理区分があることから、所管部局への円滑な業務移管を行う。</p>				

Ⅱ. 事業概要

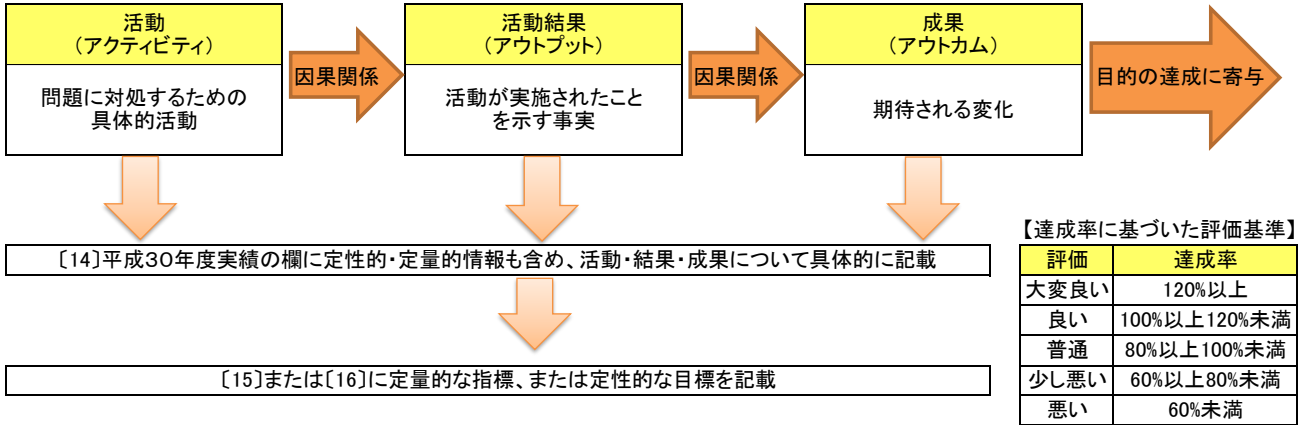
事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input type="checkbox"/> その他 ( )			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	美原区域内の公共下水路等			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	下水路等の清掃を行い、各家庭からの生活排水放流による水路の詰まり、それを要因とする悪臭及び害虫発生、降雨による道路冠水を予防し、市民の生活環境の保全と公衆衛生を保持する。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	<p>美原区域内の公共下水路等を計画的に、委託による吸引車、人力による清掃を行い、発生したごみや残土の処理を行う。</p> <p>清掃区間 L=29,500m 集水樹清掃 1,000箇所</p> <input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他 ( )			
10	直接実施以外の主な支出先	株式会社土師清掃				

Ⅲ. 投入量

項目	単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業費 (a)	千円	22,868	18,507	12,662	18,672	
11 主な事業費内訳	下水清掃業務委託料	千円	22,205	17,950	12,434	18,104
		千円				
		千円				
		千円				
	国・府支出金	千円				
	財源内訳	千円				
	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
市債	千円					
その他 ( )	千円					
一般財源	千円	22,868	18,507	12,662	18,672	
12 人件費 (b)	千円	2,460	2,460	2,460	2,430	
13 総コスト(c)=(a)+(b)	千円	25,328	20,967	15,122	21,102	

《Ⅳ. 評価（測定・分析）》

ロジックモデルの考え方



事業の活動内容や成果

平成30年度実績								
14	<p>本事業は、平成28年度から段階的に縮小を図っており、対平成27年度比率で28年度は2/3、29年度は1/2、30年度は1/3に縮小し、30年度限りで事業廃止とする方針であった。縮小は方針通り進めることができたが、地元調整等諸般の事情により廃止時期を延長することとなった。</p> <p>平成30年度の実績</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・清掃区間の延長: 12,922m (対平成27年度比22%)</li> <li>・清掃を行った集水枳数: 224箇所 (対平成27年度比11%)</li> </ul>							
	15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
		清掃を行う延長距離比率 (対平成27年度実績)	%	目標値	67	50	33	50
				実績値	71	40	22	
達成率				94%	125%	150%		
評価	普通	大変良い	大変良い					
算出方法・設定根拠など		<p>従来は延長距離 (単位m) を指標とし、目標よりも実績が上回るほど評価が高くなる設定であった。しかし、段階的に縮小を図っている事業のため、平成27年度実績を100%として同年度に対する減少率を指標とした。</p> <p>延長距離の実績値 (単位m) : H27年度59,000、H28年度41,813、H29年度23,797、H30年度12,922</p>						
16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
	清掃を行う収集枳数比率 (対平成27年度実績)	%	目標値	67	50	33	50	
			実績値	76	38	11		
			達成率	88%	132%	300%		
評価	普通	大変良い	大変良い					
算出方法・設定根拠など		<p>従来は枳数 (単位箇所) を指標とし、目標よりも実績が上回るほど評価が高くなる設定であった。しかし、段階的に縮小を図っている事業のため、平成27年度実績を100%として同年度に対する減少率を指標とした。</p> <p>延長距離の実績数 (単位箇所) : H27年度2,000、H28年度1,514、H29年度757、H30年度224</p>						

業績の分析

目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)	
17	<p>事業縮小の方針通りに規模の縮小を行うことができたが、対平成27年度比1/3の規模では地元要請に十分に応えきれない部分もあった。このため令和元年度は対平成27年度比1/2の規模を目標とした。</p>

【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありましたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありましたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。